禁無断転載

Water and Environment Solution Hub

国際戦略室　内田 一弘

1．Water and Environment Solution Hub とは

Water and Environment Solution Hub（水・環境ソリューションハブ／以下「WES Hub」）という言葉をご存じでしょうか？

この WES Hub の成り立ちは、2008 年まで遡ります。

2008 年 6 月のシンガポール国際水週間にて、アジア・太平洋地域のサニテーション問題に取組むナレッジハブが立ち上げられました。このナレッジハブは、サニテーションの知識を取りまとめる機関を指しており、一国一機関となっています。

日本は、シンガポール国際水週間の開催から 1 年後の 2009 年シンガポール国際水週間の中で開催されたアジア・太平洋水フォーラム（Asia-Pacific Water Forum /以下 APWF）において、日本のナレッジハブとなる日本サニテーションコンソーシアム（以下「JSC」）のビジネスプランを提案し、同年 10 月 16 日に JSC が発足しています。

そして WES Hub は、この JSC が行う Knowledge Hub 構想に参画する地方公共団体のネットワークを意味しています。

Water and Environment Solution Hub の背景及び目的

※ 水・環境ソリューションハブ運営要綱の抜粋

2009 年、APWF（アジア・太平洋水フォーラム）において、日本がサニテーション分野における Knowledge Hub として登録され、これを担う機関として JSC（日本サニテーションコンソーシアム）が発足し、技術の集約・発信等の活動を展開しているが、海外の政府機関や援助機関からは、技術のみならず、政策形成・人材育成等に関する経験・ノウハウの重要性が指摘されており、特に我が国の地方公共団体の経験・ノウハウの活用に注目が集まっている。

このため、水・環境インフラの海外展開をより一層加速させる観点からも、政策・技術等をパッケージとしたトータルソリューションを海外の政府機関や援助機関等に提供すべく、Knowledge Hub である JSC に、海外展開に先進的に取り組む地方公共団体が Alliance Advanced Agency（AAA）として参画するネットワークである WES（水・環境ソリューションハブ）を発足させるものである。

2．Water and Environment Solution Hub に登録される団体

WES Hub（日本の Knowledge Hub 構想に参画する地方公共団体等のネットワーク）に登録される団体を表 1 に、そして各機関の役割分担を表 2 に示します。

なお、この登録団体のことを AAA（Alliance Advanced Agency）と呼んでいますが、この略語の多さに加えて、その定義の難解さや相互関係の複雑さに困ってます（筆者）。

Copyright©2021 日本下水道事業団技術戦略部

禁無断転載

表 1　WES Hub 登録団体と登録年

登録年	団体名（申請順に記載）　※登録団体は AAA と呼ばれる	累積団体数
2012 年	北九州市、大阪市、東京都、横浜市、神戸市、福岡市	6
2013 年	川崎市、埼玉県、日本下水道事業団	9
2014 年	滋賀県	10
2015 年	仙台市	11
2020 年	名古屋市	12

表 2　関連機関の役割分担（国土交通省資料から抜粋）

国土交通省	・WES-Hub に登録された AAA に対し、プラットホームのマネジメント、及び国際援助を行う機関に対して AAA を積極的に推薦。 ・AAA として必要な環境の整備を支援。
日本サニテーションコンソーシアム（JSC）	・WES Hub の活動内容の集約と蓄積を行うとともに、APWF の Knowledge Hub として海外向けの情報発信を行う。
地方公共団体や技術専門機関	・WES Hub を構成する AAA として参画し、海外の政府機関や援助機関等に水インフラ行政に関する経験によるノウハウを提供することで、海外での水インフラの普及に必要な体制の構築に貢献する。

3. Water and Environment Solution Hub と日本下水道事業団の関係

日本下水道事業団は、2013 年の 4 月から WES Hub に参加しておりますが、参加団体の中で唯一の地方自治体とは異なる組織であり、専門技術機関の位置づけと考えられます。

そして現在は、参加メンバーに留まらず、国土交通省が行う事務局業務の支援を 2020 年 4 月から開始し、WES Hub 構成員と事務局の 2 面的な立場で関わっています。

4. Water and Environment Solution Hub の行方

2020 年から限在まで継続する新型コロナ感染症流行の影響は、国際活動に大きな制限を与えています。すべての AAA は活動の見直しを余儀なくされ、事業継続への手続きや研修などのオンライン化に取り組み、この手法変更は目覚ましい勢いで浸透しております。

しかしながら、一方では対面コミュニケーションには及ばない進捗に苦労しているのも実態です。改めて、「直接に対面することでの会話の展開力」の重要さを感じています。

従来の活動では参加団体である AAA における相互の情報交換を継続するとともに、各 AAA 内部の人材育成や事業継続性を目的としたノウハウ集の発行と改訂を主体として行っていたところですが、2021 年度は新たな企画として WEB サイトのリニューアルを行う事が決定しました。

今後とも、日本の下水道事業を海外に幅広く伝えるナレッジハブ事業にご期待ください。

Copyright©2021 日本下水道事業団技術戦略部